

芦北町過疎地域持続的発展計画（素案）に関する意見公募の結果と町の考え方について

令和8年2月12日
芦北町企画財政課

「芦北町過疎地域持続的発展計画」（素案）」について、町民の皆さんからのご意見を募集しました。寄せられたご意見とこれらに対する町の考え方を次のとおりお示しします。ご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

- 1 意見の募集期間 令和8年1月20日（火）～令和8年2月3日（火）
- 2 意見の件数（意見の提出者） 2件
- 3 意見・提案の内容と考え方

No.	意見・提案（要約）	町の考え方
1	肥薩線の復旧後の利活用策について、芦北町が主体的に関わることを明記すべきではないか。	沿線自治体及び県・JR九州において、肥薩線の復旧後の利用促進や活性化策について検討をしており、芦北町を含めた沿線自治体での取り組みを今後引き続き行っていく予定としています。その旨計画には記載しておりますがより明確にするため下記の通り補足修正します。 ●補足追記案 鉄道での復旧が決まった肥薩線においては沿線自治体と緊密に協力し、官民連携のもとで利活用について実効性のある取組の検討を図る。 また、ご提案につきましては、町としても重要な課題と認識しており、ご期待に沿えるよう努めてまいります。
	集落の整備 外部人材の積極的な活用において、誘致企業や地域おこし協力隊などが活動をしているが、活動の内容が町民に見えにくく、一過性の活動となっている気がする。今後はもっと地域を大きく変えるような影響力を持った外部人材を登用することはできないのか。	町内で活動をしている地域おこし協力隊やサテライトオフィス等に誘致した企業は、町内の企業や芦北高校生と連携し、地域課題の解決に向けた取り組みを行っており、その取り組みについて定期的に広報誌等で報告をしているところです。 また、外部人材の登用については、引き続き地域活性化起業人や、町が抱える諸課題及び町政の変革に関し、専門的な見地から必要な助言、提言等を行う芦北町未来デザインフェロー制度などを活用し、町の活性化に向け取り組んでまいります。
2	各項目に「公共施設等総合管理計画との整合」という文言がそれぞれ書かれているため、まとめて記載することができないのか。	ご指摘いただいた個所については、基本的事項を「計画との整合性について」をまとめた形で記載させていただきます。
	公共施設など壊れる前に修繕する「予防保全」の具体的修繕計画及び積立予算の考え方を示していただきたいが素案では難しいと思うので、具体案に進んだときに「建物修繕・改修計画案及び予算積み立て計画」を示していただきたい	「予防保全」は施設を管理する上で重要なことであり、それぞれ建物を所管する担当課において長寿命化計画や修繕計画を作成しているところです。 ご提案につきましては、公共施設の維持管理の重要な課題として認識しておりますので、予防保全の観点を念頭に引き続き適正な管理を行っていくこととしています。
	町所有の建築物については町有の施設	町有施設のリストは「公共施設等総合管理計画」及び「芦北

2	リストという形で計画に記載できないか。	町個別施設計画」に記載しております。 過疎計画は、総体的な計画のため、個別の事項について記載しておりません。
	移住・定住・地域間交流の促進、人材育成については、重要な内容となっているので、対策の具体案をこの後の計画でお示ししていただきたい。	本町では、移住定住応援サイト「よしきた」を通じて移住・定住等に関連する施策などの情報発信を行っております。具体的な施策については、本サイトを通じて情報発信に努めてまいります。
	商工業の振興の項目にある「DXによる業務の効率化が進んでいない」の文言の意味がよくわからないので、もっと簡単な言い回しができないのか。	ご提案につきましては、本計画策定の参考にさせていただきます。
	林業については、産業の視点も大切だが、今後は森や山林を保全するという概念が重要となっているのではないか。	今後の林業施策検討において、参考にさせていただきます。
	フットパスやSUPといった普段聞きなれない言葉や単語については、巻末に解説文を書いてもらえないか。	ご意見のとおり用語解説を追加致します。
	電気通信施設等情報化のための施設とはどういうものか。	地域や公共インフラの利便性・効率性を高めるために整備させる、光ケーブル、LAN 整備、CATV ネットワークなどの情報通信基盤のことです。
	公共交通について、ふれあいツクールバス・予約型乗合タクシー以外に現在運行中の「のるーと」も記載いただきたい。	現在担当課において、公共交通の見直しを進めており、実証運行中の「のるーとあしきた」を含めて、持続的な公共交通システムを構築に向けて検討を行っているところです。計画では「AIなどを新たな交通システムを活用することで、利用者ニーズに柔軟に対応し、利便性の向上を図る」という形で記載しております。
	公営住宅の数と町営住宅の数が整合しない理由は。また、公営住宅の4階建ての建物にエレベーターの設置を検討するとあるが維持保全のコストを考えても必要なのか。	住宅所有形態の公営住宅の数は、国勢調査の公営の借家に住んでいると回答した世帯の数を記載しています。町営住宅（令和7年4月1日）の数は実際に町が所有している住宅の戸数であるため、一致しません。なお、住宅所有形態については、令和2年国勢調査の数値に更新します。 公営住宅の設備改修のご指摘につきましては、必要可否を含めて検討しており、公営住宅の利便性向上に向けた取り組みについて、引き続き検討を図ってまいります。
	婚姻することで、地域への定住、子供を産み育てていくことにつながるため、若者たちやそれぞれの年代に応じた出会いの場をサポートできる体制はできないのか。 （例えば 民間の力を借りるなど）また、高齢者についても孤独な環境を避けるために、同じ境遇の人が出会うことができ、話し相手を探せる環境づくりをすることはできないのか。	町として、出会いの場を作ることを中心に、八代市及び氷川町と連携した婚活事業を行っております。また、併せて八代市が設置した婚活サポートセンターと連携することでさらなる出会いの場をサポートを行うと共に、町民への情報発信を進めています。 また、高齢者の出会いの場については、ご提案いただいた内容について、今後の施策検討において参考にさせていただきます。
	競技スポーツ・生涯スポーツの振興について、建物の予防保全の考え方と同じように、運動をすることで健康増進につながり	スポーツが健康の維持管理及び増進に与える影響について本町としても重要なものと認識しております。ご提案につきましては、今後の施策検討において参考にさせていただきます。

2	結果的に医療費削減にもつながるので、そのような記載があってもいいのではないか。	
	自治公民館組織活動や地域レクリエーション等の活動を活性化させるという考え方は行政と町民のつながりの最も原点で、災害時の自主防災活動にもつながる活動と思うので大切にしてほしい。	町としての重要な方針及び理念と認識しています。 引き続き、行政区、自治公民館、自主防災組織、まちづくり団体など地域を支える多様な担い手の組織づくりや活動に対して積極的に支援することで、更なる地域の活性化に向け努めてまいります。
	地域文化活動項目に町内の文化活動の名称と活動内容を巻末に記載できないか	過疎計画は総体的な計画のため、個別の事項については記載しておりません。
	災害時等のことを考えると、再生可能エネルギーの利用の推進は重要な項目であるため、実施計画では具体案を示していただきたい。また、総合防災マップに再生可能エネルギー拠点、防災拠点を掲載してほしい。	ご提案につきましては、本町としても重要な課題と認識しております。ご期待に沿えるよう努めてまいります。 また、防災拠点については防災マップへ既に掲載しておりますのでご覧ください。 URL https://www.town.ashikita.lg.jp/hazardmap/map.html?lay=saigai-01
	素案の構成について、表などを巻末に掲載することで見やすくなるのではないか。	ご提案につきましては、計画策定の参考にさせていただきます。